

旅行業法改正に伴い全国で研修を実施

JATA研修・試験部

今年1月4日に「通訳案内士法及び

旅行業法の一部を改正する法律」が施行されました。今回の旅行業法改正により、旅行業者などの営業所で選任されている旅行業務取扱管理者は、5年毎に定期的な研修を受講することが義務付けられました。また、新たに登録制度となつた旅行サービス手配業については、すでに旅行業登録がある場合、重複して登録を受ける必要はありませんが、日本国内でランドオペレーター業務を行うには、都道府県知事への登録が必要となります。JATA研修・試験部は、旅行業法改正に伴う「旅行業務取扱管理者定期研修」と「旅行サービス手配業務取扱管理者研修」を全国で実施する予定です。

に、旅行業登録が受けた場合は、重複して登録を受ける必要はありませんが、日本国内でランドオペレーター業務を行うには、都道府県知事への登録が必要となります。JATA研修・試験部は、旅行業法改正に伴う「旅行業務取扱管理者定期研修」と「旅行サービス手配業務取扱管理者研修」を全国で実施する予定です。

「誓約書」の提出をもつて代替することができます。

○受講の優先順位

受講希望者が「時期に集中する」とを避けるため、営業所において選任される旅行業務取扱管理者及び旅行業務取扱管理者として選任見込みの者が優先的に受講できる時期が定められています。

※「旅行業法の改正に伴う経過措置について」
http://www.jata-net.or.jp/membership/law/notice/pdf/2019_lawgistrrevisestep.pdf

【旅行業務取扱管理者定期研修について】

○受講時期

旅行業の登録更新の2カ月前に当たる日までに研修を受講する必要があります。ただし、次項の通り、猶予措置が定められています。

※旅行業者代理業者については、所属旅行業者の旅行業の登録の有効期間満了日の2カ月前となります。

※選任される者が更新登録申請日（旅行業の登録の有効期間の満了日の2カ月前まで）直近5年以内に旅行業務取扱管理者試験に合格している場合は、受講の必要はありません。

第1期 募集受付 6月／研修実施
II 7月／開催都市 東京・大阪・札幌・那覇
第2期 募集受付 10月／研修実施

○猶予措置

平成32年3月までに旅行業の登録の有効期間の満了日の2カ月前に当たる日が来る旅行業者等が、当該日までに研修を受講することができない場合には、更新登録の際に登録行政庁へ平成32年3月末までに研修を受講する旨の

「誓約書」の提出をもつて代替することができます。

【旅行サービス手配業務取扱管理者研修について】

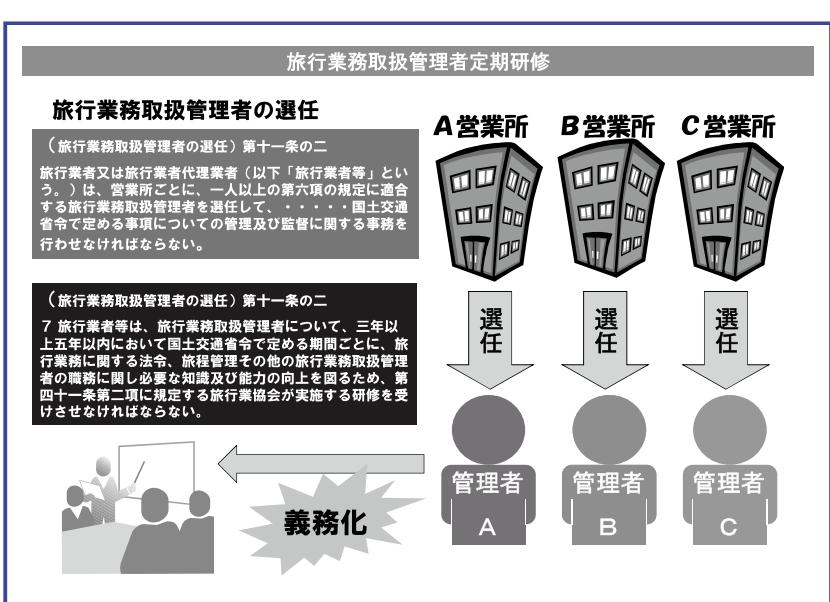
○開催予定

JATAでは平成30年度の事業として、旅行業務取扱管理者定期研修を次の予定で開催します。詳細は決まり次第、JATAのホームページをご案内します。

JATAでは、3月22日と23日の東京（1回目）を皮切りに、5月までに札幌・東京（2回目）・大阪（2回実施）・福岡・那覇の5都市7会場で、旅行サービス

屋・福岡
第3期 募集受付 1月／研修実施
II 2月／開催都市 東京・大阪・仙台・広島
※営業所毎に選任された旅行業務取扱管理者が研修を受講していないと、旅行業の登録更新ができないこともありますので、猶予措置ならびに受講の優先順位等を確認いただき、確実に研修を受講していただくようお願いいたします。

各会場ごとに応募締切日が異なっているため、詳しくは左記URLの募集案内をご参照ください。
http://www.jata-net.or.jp/seminar/training/service/h30service_guide.html



山形市で「UNWTO雪と文化の国際観光会議」 田川会長や理事・運営役員など30人が出席

(UNWTO)、UNWTO駐日事務所の共催による「UNWTO 雪と文化の国際観光会議」が2月2日、山形市の山形国際交流プラザ「山形ビッグウイング」で開催され、JATAからは田川博己会長をはじめ理事・運営役員ら30人が出席しました。

東北で初めて開催されたUNWTO国際会議には、海外25カ国・地域からの74人を含む291人が参加。世界中から集まつた観光関係者による活発な議論を通じ、山



まとめセッションまで活発な議論が繰り広げられたUNWTO国際観光会議

から、(1)社会の視点・地域住民が自ら地域を愛し、観光を仕事として従事できること、(2)

経済の視点・地産・人的な視点・交流を通して地域が活性化され潤うこと、(3)環境の視点・地域住民と自然が共生できること」と解説しました。リ

ファイ前UNWTO事務局長は、会議のテーマである「雪」にも言及して、「雪は素晴らしい観光資源になるが、旅行者だけが楽しむのではなく、地元の人も楽しんでいるのかどうか」と問いかけ、「観光は、初めに」

JATA海外旅行推進部の澤邊宏国際センター所長・飯田祐二国際センター副所長は、1月17日から20日までの4日間にわたりスペインのマドリードで開催された世界最大級の国際商談会である「FITUR」に出席し、FITURの開催期間中に国連世界観光機関(UNWTO)本部を訪れ、今年1月に就任したUNWTOのズラブ・ポロリカシュビリ事務局長を表敬訪問しました。

澤邊所長はボロリカシュビリ事務局長に対し、今年9月に開催されるツーリズムEXPOジャパン(TEJ)フォーラム2018における基調講演での登壇について、TEJ実行委員長を務める田川博己JATA会長からの要請を伝え、同事務局長はこれを快諾。澤邊センター長とボロリカシュビリ事務局長は、持続可能な観光開発などについても意見交換を行いました。

また、FITTURの初日に開催された

UNWTOの主催による中国アウトバウンド市場開拓をめぐる国際討論会では、澤

ミニティーありき」であることを強調しました。

会議の総括セッションに登壇した田川JATA会長は、雪をテーマにした国際会議が開催されたことに敬意を表したうえで

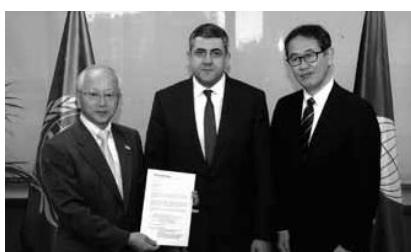
「多様性とコミュニティー・ファースト(住んで良い、訪れて良い)」がキーワードであり、「地域の特性をいかにブランディング化して情報発信できるかが発展への課題」であると訴えました。

UNWTOのボロリカシュビリ新事務局長を表敬訪問

JATA海外旅行推進部の澤邊宏国際センター所長・飯田祐二国際センター副所長は、1月17日から20日までの4日間にわたりスペインのマドリードで開催された世界最大級の国際商談会である「FITUR」に出席し、FITURの開催期間中に国連世界観光機関(UNWTO)本部を訪れ、今年1月に就任したUNWTOのズラブ・ポロリカシュビリ事務局長を表敬訪問しました。

澤邊所長はボロリカシュビリ事務局長に対し、今年9月に開催されるツーリズムEXPOジャパン(TEJ)フォーラム2018における基調講演での登壇について、TEJ実行委員長を務める田川博己JATA会長からの要請を伝え、同事務局長はこれを快諾。澤邊センター長とボロリカシュビリ事務局長は、持続可能な観光開発などについても意見交換を行いました。

また、FITTURの初日に開催された



ボロリカシュビリ事務局長(中央)に要請書面を手渡す澤邊センター所長(左)と飯田祐二国際センター副所長(右)